

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	古民家ゆめの森こども園			
○保護者評価実施期間	2024年 9月16日		～	2024年 9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2024年 10月1日		～	2024年 10月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の人間関係が良く、困っている時や悩みがあるときなど、お互いが支え合うことができるチームワークの良さが強みだと思います。	毎日、夕方の送迎後の時間を使ってその日の子どもの様子や支援者自身の悩みなどを伝えあい共有する時間を設けています。また、参加できないパートやアルバイトの職員については帰る前に報連相の時間を短時間でもつくったり、翌朝、前日の話し合いの報告等をきちんと伝えるようにしています。	支援会議に行く前には(学校や他事業所などに対して)伝えたいこと、聞きたいことなどそれぞれが感じていないかを簡単に話し合い、児発管だけの偏った情報にならないようにしています。
2	保護者との連携がよく、コミュニケーションがしっかりとれていることです。また、地域に(事業所の周り)対して動物と触れ合うことやお話し会等オープンな印象を持ってもらっていると思います。特に食育に関しては情報共有をしっかりとるようにしています。	食育の一環として農業体験を通し自分たちで育てた野菜を食べたり、昔ながらの伝統食や保存食作りなどを体験させています。また、子どもたちと食について意見交換をしたり、年に数回、保護者だけでなく地域の方々にも食の大切さや事業所の取り組みなどについて知識として知ってもらえるイベントを開催したりしています。	食については支援者が事業所の代表や、外部の講師(ミネラルアドバイザー)の研修を受けています。また、子どもの偏食等で困っているお母さんにはアドバイザーからのモニターを受けたりできるような連携をしています
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	有資格者が少ないため、専門性や専門知識が乏しくそこが弱みだと考えます。	収入と支出(人件費を含む)のバランスの問題があり、有資格者を採用するには経営的に難しいのではないかと考えます。	専門知識が必要と考えられる場合は相談支援専門員さんを介して専門機関につないでもらえるようお願いし事業所全体で学ぶ機会をつくっていきたくと考えています
2			
3			